

令和元年度第2回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和元年 11 月 14 日（木） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 40 分

場 所 市役所 3 階 第 2 会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5 名）

伊藤由美子（委員長）

藤田 素弘（副委員長）

赤木 邦男

佐藤 久善

小寺 直美

事務局（7 名）

松岡 孝幸（総務部 部長）

早川 晴美（ ” 契約監理課 課長）

種村 悟（ ” 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

蒔田 宏之（ ” 契約監理課 課長補佐兼契約調達係長）

水谷 正紀（ ” 契約監理課 契約調達係）

森 浩木（上下水道部 次長兼企画総務課 課長）

小林 修（ ” 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事担当課（8 名）

佐藤 良治（都市整備部 次長兼土木課 課長）

橘田 竜一（ ” 土木課 建設係主任）

小林 代二（ ” 桑名駅西整備事務所 所長）

中村 誓章（ ” 桑名駅西整備事務所 所長補佐兼係長）

小寺 大輔（ ” 桑名駅西整備事務所 技師）

出口 敏幸（上下水道部 水道課長）

城田 一（ ” 水道課 課長補佐兼施設係長）

関塚 佳生（ ” 水道課 水道係長）

事 項

1 開 会

【事務局】

おはようございます。本日は、ご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。
定刻になりましたので、「令和元年度第2回入札監視委員会」を開催させていただきます。
最初に、総務部長からご挨拶申し上げます。

【事務局】

改めましておはようございます。総務部長の松岡でございます。本日はよろしくお願い
します。本日は、お忙しい中、令和元年度第2回目の桑名市入札監視委員会にご出席いた
だきましてありがとうございます。

さて、立冬も過ぎましていよいよ冬の訪れと言いますか、肌寒くなる今日この頃でござ
います。今年度これまでを振り返りますと全国的にも台風、豪雨等多くの災害に関する被
害が発生しているところでございます。桑名市においても例外ではなく、台風等の影響は
ございませんでした。7月および9月4日・5日の豪雨によりまして道路や農業用施設・
河川等に被害が発生しました。9月に市議会の定例会におきまして、その復旧費用と致し
まして3億円程度の工事等の費用を計上させていただきました。その後順次復旧作業に
取り掛かっているところでございます。そのような中災害に伴いまして復旧工事等が増
えてきますと、工事等に関する発注も増えてきます。そんな中これまでと同様の入札や契
約につきましても、適切に事務を進めて行きたいと考えております。本日は5つの抽出事
案等につきましてご審議いただきますが、入札・契約の制度をより良いものとしていく、
また、公共工事等を適切に執行していきますように引き続き本日ご参加の委員の皆様
におかれましては、より高い視点、広い視野でのご意見を頂戴できればと思っております。
本日はよろしくお願いします。ありがとうございました。

【事務局】

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご
審議のほどよろしくお願いいたします。

なお、本委員会は入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立して
いますことをご報告申し上げます。

それでは開会に先立ちまして伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますのでよろ
しくお願いします。

【委員長】

皆さんおはようございます。今年の10月から消費税が、税率改正によりまして税率ア
ップになりましたこと、それから複数税率が開始されていることで経済については難し
いことがいろいろ出てくると思います。ただ入札に関しましては、ほとんどの契約につい
て経過措置の対象となるものは3月末までに契約を済ませていないと10月以降は8パー

セントのものは出てこないということです。しかし、桑名市におかれましては一部長期契約のもの等がございまして、若干 10 月以降の工事を実施しても 8 パーセントのものが多少残っているようでございます。事務に関しましてはそのまま移行していくのではないかと考えています。

入札に関しましては、桑名市の入札制度が適正に運用されるように入札監視委員会が置かれておりますが、100 パーセント完全な入札制度はないと考えています。その時その時に合わせまして必要な措置を講じながら変化していく制度でないと対応が難しいと思います。適正な入札ができるように終了した入札そのものについてみると、今後の入札について如何していけばよいか等の提言ができるといいなと考えています。それでは本日もよろしくお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。ここからは、桑名市入札監視委員会条例第 5 条第 1 項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行をしていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は一般公開となっておりますが、現在、傍聴の希望をされる方はお見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点で傍聴の可否について検討させていただきたいと思います。

2 議事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

それでは「議事（1）入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局の蒔田です。座って説明いたします。お手元の資料をご覧ください。それでは（1）入札及び契約手続きの運用状況について説明させていただきます。資料の 1 ページをご覧ください。

① の指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります平成 31 年 4 月から令和元年 8 月の間に指名停止を講じました件数は 5 件となっております。この 5 件は三重県が実施しました指名停止に合わせて桑名市でも同等の措置を講じたものでございます。

② の談合情報でございますが、対象期間において寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

はい。ありがとうございました。ただいまのご報告について、ご質問、ご意見はございませんか。なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は、必ずマイクを使用していただきますようお願いいたします。

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、続きまして、議事の(2) 抽出事案の審議についての項目に移ります。

審議に先立ちまして、抽出案件5件について、説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔全委員が了承する〕

それでは、関係者の出席を求めます。

〔関係職員の入室〕

【委員長】

それでは、審議にあたりまして、今回の5件の抽出理由につきまして、私が抽出させていただきましたので、私から説明いたします。

1 番目の走井山急傾斜地法面对策工事は事後審査型条件付一般競争入札です。落札率が高いこと、発注金額が高額であることで抽出いたしました。

2 番目の市道上之輪嘉例川線舗装工事は随意契約です。落札率が高いことで抽出いたしました。

3 番目の多度北部送水場ほか電気計装設備更新工事は事後審査型条件付一般競争入札です。落札率が高いこと、発注金額が高額であることで抽出いたしました。

4 番目の長島町平方配水管布設替工事は事後審査型条件付一般競争入札です。落札率が高いこと、発注金額が高額であること、それから同額入札が多数であることで抽出いたしました。

5 番目の使用収益開始等業務委託は事後審査型条件付一般競争入札です。落札率が高いこと、発注金額が高額であること、応札業者数が少ないことで抽出いたしました。

抽出事案 1 走井山急傾斜地法面对策工事

【委員長】

それでは第1案件「走井山急傾斜地法面对策工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【担当課】

1件目の走井山急傾斜地法面对策工事の発注課である土木課の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

お手元の3ページの資料をご覧ください。工事概要書に基づいて説明させていただきます。工事名は走井山急傾斜地法面对策工事、予算額4750万円に対して設計額につきましては4606万2500円でございます。工期につきましては、令和元年9月10日から現在進捗しておりまして令和2年2月28日までといたしております。

工事概要につきましては、それぞれ西斜面の対策、南東斜面の対策等2斜面の対策工事を実施しております。まず、西斜面につきましては、斜面に鉄筋を挿入いたしまして、その鉄筋を基にネットを張るプレスネット設置工としてそれぞれ511メートルと152箇所、また、落石防止の網を設置するということで、570平方メートルでございます。また、南東斜面につきましてもそれぞれ鉄筋挿入工、プレスネット設置工、ポリ落石防止網設置工ということで記載の通りでございます。1枚めくっていただきまして位置を説明させていただきます。施工箇所につきましては、施工箇所と○を振ってある所ですが、こちらにつきましては市の管理いたします走井山公園の一部となっております。その下でございますのが、三岐鉄道北勢線が東西に走っており、かつその斜面の付近には民家が張り付いているところでございます。本来急傾斜地崩壊対策工事につきましてはそれぞれ公共的な施設なおかつ人家等を守るうえで三重県が対策工事を実施するところでございますが、本対策工事につきましては、公園用地の一部といたしまして桑名市が実施しております。

5ページにあります平面図がそれぞれ西斜面と南東の位置図でございます。その他に添付させていただいております図面につきましては、工事の詳細の図面でございます。

発注担当課からの説明は以上でございます。

【事務局】

事務局の蒔田でございます。座って説明させていただきます。続きまして発注公告及び入札経過について説明させていただきます。資料の8ページをご覧ください。入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。資料の中段をご覧ください。入札参加資格要件につきましては、土木一式工事業の許可業者であること、所在地は市内、準市内、県内、県外とし、発注業種の完成工事高は予定価格の2分の1以上であること、同種工事施工実績は平成16年度以降、官公庁が発注した案件で、急傾斜地対策などでの施工実績を有

すること、技術者要件として現場代理人及び主任技術者の配置を求め、以上の条件により公告いたしました。

次に入札の結果及び結果でございます。9 ページをご覧ください。令和元年 8 月 28 日に入札を実施いたしましたところ、3 者から応札があり、3 者とも最低制限価格以上予定価格以下の範囲内での応札で、そのうち一番低い価格で応札した別府建設株式会社を落札候補者いたしました。その後事後審査を行った結果、適格であったため当該事業者を落札者に決定し、税抜 4080 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございますか。では私から質問させていただきます。本来、位置的に三重県がするものではあるが、市の公園用地でもあるということで、桑名市が手がけられたということですが、本来三重県がするものなら三重県にしてもらうべきではないかと感じたのですが、あえて桑名市がした経緯について教えてください。

【担当課】

土木課の佐藤でございます。説明不足で申し訳ございません。急傾斜地の対策工事につきましては、民地の崖地を手続きを踏みまして崖の下安全度を保つために主に三重県が国から補助を頂く事業もしくは三重県の単独事業であり、事業のメニューがございます。一般的に民地では三重県が対策工事をするのですが、今回のこの箇所については桑名市が管理する崖地ですので、桑名市が安全を確保するという事で桑名市が施工すべきものでございます。

【委員長】

ありがとうございます。この度の入札参加資格要件の所在地について県外事業者まで含めていますが、もう少し近隣の業者に限定することはできなかったのでしょうか。

【事務局】

事務局の蒔田でございます。プレスネット工法の施工実績を求めています関係から実績があれば市内業者は参加できますが、実績のない業者が市内ではほとんどだと思われまして、県外まで広げて三者応札という形での入札となりました。

【委員長】

わかりました。できるだけ近場の方のほうが費用の削減につながるのではないかと思います。他にご質問ございませんでしょうか。

【委員】

プレスネット工法の施工実績が必要になっていますが、どの程度の実績があればいいのでしょうか。一回でもあればいいのでしょうか。実績があっても後で不具合が起きてはいけないので、それについての業者のチェック等はどのようにされていますか。

【担当課】

土木課の佐藤でございます。同種工事施工実績といたしまして、平成 16 年度以降官公庁が発注した案件ということで、受注して不具合等がございましたら官公庁からある程度情報はキャッチできるという認識の下で、施工実績を求めることとしております。今回の入札業者については、実績がありかつ不具合が生じていないという判断のもと実施いたしました。

【委員長】

よろしいでしょうか。他に質問はございませんか。

【委 員】

4 ページの位置図を見ますと、現在の施工箇所よりも左側にも同じような傾斜地がありますが、このような工事は必要ないのか、もしここにも必要なら三重県がされるのでしょうか。

【担当課】

今回の施工箇所は過去約 4 年続いてきて、私共桑名市が管理する急傾斜地については最終年度としております。ご指摘のこれより向かって左、西の部分については大部分が民地でございます。現在三重県がほぼ完了して、一番西側、向かって左側が最終工区として三重県が施工中です。ご指摘の通り全て三重県が施工しているところは民地上での工事でございます。

【委員長】

ありがとうございます。他にはご意見、ご質問はいかがでしょうか。特に問題もございませんでしたので、この案件については問題なしとします。

抽出事案 2 市道上之輪嘉例川線舗装工事

【委員長】

それでは、第 2 案件「市道上之輪嘉例川線舗装工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【担当課】

引き続き土木課の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

資料の 10 ページをご覧ください。工事概要書でございます。工事名につきましては市道上之輪嘉例川線舗装工事、予算額 1570 万円に対して、設計額 1148 万 9040 円でございます。工期につきましては契約日から令和元年 9 月 30 日までということで現在完了しております。工事概要につきましては、既存の舗装部分に関しまして既存の路面を 2019 平方メートル切削したうえで改めて表層工を実施し、それに伴いまして、既存でございました

区画線工と付帯工事を一式実施させていただきました。

資料 11 ページをご覧ください。施工箇所につきましては、養老鉄道播磨駅が位置図の右側にあります。大山田川を並行した形で市道上之輪嘉例川線という市道がございまして、概ね養老鉄道播磨駅から国道 258 号線までの区間の半幅員が施工箇所でございます。

それ以降につきましては詳細の図面等が 24 ページまで添付させていただいています。25 ページをご覧ください。本件工事につきましては随意契約をさせていただいております。随意契約内容についてはこの工事を面的に整備しております下水道工事に伴いまして、それに合致する形で舗装復旧ということで発注しております。本路線上に下水道管を敷設することで下水道課が実施しておりますが、本来この下水道工事は国の補助金で実施しておるところで、最低限の舗装復旧、概ねこの路線上の幅員の半分を下水道課で舗装を復旧していただくということで整備をしておりました。しかしながら、全体的に舗装面が老朽化しているので道路管理者である土木課といたしましても半分復旧ではなく全面的に復旧したいというところで、下水道課が下水道事業団に発注したこの桑名市播磨処理分区管渠建設工事にかかる舗装工事と同一区間において半車線の部分の舗装工事を行っておるところに対しまして、その事業団側から請け負っている業者に対しまして随意契約をすることによって費用の削減かつ早期の舗装復旧が実現可能ということで随意契約を締結させていただいたところがございます。

発注課からの説明は以上でございます。

【事務局】

事務局の蒔田でございます。見積経過及び結果でございますが、26 ページをご覧ください。令和元年 7 月 24 日に見積り合わせを行い、指名業者の大豊建設株式会社三重営業所から見積りを徴しましたところ予定価格の範囲内でしたので税抜 1060 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしく申し上げます。

【事務局】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご意見、ご質問はございませんか。

【委員】

赤木です。私の理解が足りなければ申し訳ありません。管を入れる工事をするに当たって、道路を削って管を入れて、アスファルトを敷きなおすのであれば、全部アスファルトをきれいにしたほうが良いということで随意契約をしたという理解でいいのかが一点目、二点目はもしそうであれば前者の工事、随意契約の前の工事と今回の工事で金額がどういう形で安くなっているのかを教えてください。

【担当課】

土木課の佐藤でございます。一点目のご指摘の部分は、委員のおっしゃる通り削ったうえで半分しか復旧しないものを全面的に復旧する目的で今回随意契約を締結したもので

ございます。もう一点の安くなったかつ早くなったというところでございますが、部分的に入札等を行えば新たな事業者等に発注する必要がございます。そのような箇所を道路管理者としては舗装復旧するうえで重機の運送かつガードマン等かつ諸経費等を削減できるということで比較した試算をもらったうえで、随契理由としても記載の通り早期着手完成かつ経費の削減を理由として随契契約をさせていただきました。

【委員】

イメージとしては半分削って、本来であれば半分削って管を入れてまた埋め戻してアスファルトを敷くところを、道路全体についてアスファルトを削って敷くという理解で良いと思います。しかし、全体をきれいにする必要性はどのような点にあったのかという点と、あとガードマンや重機をいちいちもう一回入れる等業者の、そこが安くなるのは分かりますが、同じ業者がさらに半分削って埋め戻すのと、ただ面積が倍になるだけでやることは一緒だということでその部分が安くなっているのでしょうか、この二点お願いします。

【担当課】

申し訳ございません。本来全面する必要があるかどうかというところでございますが、資料の 11 ページをご覧ください。位置図でございますが、今回の施工箇所よりさらに西側についてですが、同一路線上で全面的に路線復旧をこれまでも実施して参りました。ただ、同一路線上それぞれ損傷の具合が違いますので今回の箇所についてはもう少し様子を見るため計画にしていなかったのですが、半分の復旧するということで、もう半分の損傷度合いがかなり進んでおりました。かつ議会からも半分復旧されたうえで残された半分のまま放置していいのかとご指摘を受けたことも含めまして、今回下水道工事と合わせて道路管理者として全面を復旧するという判断で施工させていただいたのです。もう一点の安くなったのかというところでございますが、全体的に下水道事業として半分復旧する中一気に舗装しなおすということで、ある程度の面積が増えれば全ての経費についてはそれなりに圧縮できるかつ効率的にも一気にできるということで、付近への影響も少ないということで実施したところでございます。

【委員】

一般的なことで教えていただきたいのですが、アスファルトの復旧、全面的な改裝というのは、一般市民が道を歩いているとあお黒いきれいなアスファルトから白く灰色ぽくなったりすんだ感じでガサガサした感じのものからそういうものがあると思います。全体でよろしいのですが、通行量にもよると思いますが、どういう点からこれは削ってアスファルトを敷きなおすのか、どのくらいの年数が必要なのか等をだいたい教えていただきたいと思います。

【担当課】

ご質問の通り、それぞれの交通量で大きく、また交通量かつ通過する車両によっても大きく違います。市道については、あまり交通量を、一般的な国道や県道ほど加味していな

いのですが、ある程度付近に県道や国道はない場合、損傷度合いがかなり厳しい状況になってきます。概ね経験上で正確には言えないのですが、バス等が通れば10年前後で多分何らかの手立てが必要になると思います。従って舗装の度合いでもクラックが入って亀の甲に割れる等、また、舗装の下、舗装構成の下、路床の部分の具合によっても地質度合いでかなり違う場合がございます。路面を削ってアスファルトを敷き直すか、もしくはめくって表層から路床までやりかえるという具合で修繕具合についても違う場合がございますので、一概に何年と言えないのが実情でございます。

【委員長】

他のご質問、ご意見はございませんか。私から、抽出したのは、今赤木委員がお尋ねいただいたことと似たような部分ではあったのですが、おそらく桑名市も下水道、水道管を含めかなり更新していかなければならない部分が出てきていると聞いております。従って下水道管を工事することは、道路を掘ることになりますので、下水道課と土木課では課が異なると思いますが、道路の復旧と合わせてやれば効率的にできると思います。この度はいろいろご検討いただいたうえで、随意契約でこの部分を追加されたと思いますが、もし最初から道路に対して懸念があるのであればひとつの道路でありますので、そこをうまく連携を取りながら一つの工事でできるとよかったと感じております。これは意見でございます。他にご質問、ご意見はありませんか。よろしいでしょうか。それでは入札で問題ございませんでしたので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

抽出事案 3 多度北部送水場ほか電気計装設備更新工事

【委員長】

それでは、第3案件「多度北部送水場ほか電気計装設備更新工事」につきまして、発注担当課から工事概要を説明していただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【担当課】

工事を担当いたしました上下水道部水道課の出口と申します。よろしくお願いいたします。座って失礼します。工事概要についてご説明申し上げます。資料27ページの工事概要書をご覧ください。工事名は多度北部送水場ほか電気計装設備更新工事でございます。予算額・設計額は共に1億4328万1600円、工期につきましては、令和元年6月19日から令和2年2月28日まででございます。

工事概要は次のページの位置図にございます、多度北部送水場と多度1・2号井の電気計装設備につきまして、昭和59年の設置から約35年が経過し老朽化しておりますので更新工事を行うものでございます。電気計装設備とは、水道施設を各種測定装置により計測監視し、運転制御を行い、正確かつ安全に稼働するための一連の電気設備を指します。工事の内容でございますが、多度北部送水場につきましては監視操作盤1面、切替操作盤

1 面、送水ポンプ盤 4 面、ミニ UPS1 台、次亜注入ポンプ盤 1 面、電動仕切弁 4 台、また、多度 1・2 号井については、受電盤 1 面、取水ポンプ盤 1 面、原水ポンプ盤 1 面、1・2 号井計装盤 1 面、ミニ UPS1 台、取引用計器箱 1 面につきまして、それぞれ更新を行うものです。

資料の 29 ページから 53 ページまで枚数が多くなっておりますが、工事・設計図面で電気回路や各機器の寸法や配置などをお示ししたものです。

工事の概要についての説明は以上でございます。

【事務局】

事務局の上下水道部企画総務課の小林です。発注公告と入札経過についてご説明いたします。資料 54 ページの発注広告をご覧ください。入札方法は事後審査型条件付一般競争入札で、低入札価格調査制度対象案件でした。入札参加資格は、電気工事業の許可業者であること、所在地要件は県内業者であること、経審点数は市内 450 点以上であること、準市内は 500 点以上であること、県内は 550 点以上であること、発注業種の完成工事高が予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は、平成 16 年度以降、官公庁が発注した案件で、上水道施設の監視盤、制御盤及び計装盤の設置又は更新工事の施工実績を有することを求めています。

技術者要件につきましては、現場代理人と主任技術者の配置を求めまして、低入札価格で契約締結する場合は、これらの他に主任技術者の資格を有する専任の担当技術者を一名追加配置することとしています。なお、4000 万円以上の下請けを出す場合には、建設業許可が特定許可、主任技術者の代わりに監理技術者が必要となります。

以上の要件で公告いたしました。

続きまして入札経過・結果について説明します。資料は 56 ページをご覧ください。5 月 28 日に開札を行いましたところ、9 者から応札がありまして、開札の結果、三重電設株式会社が調査基準価格を下回る 1 億 1399 万円で応札しまして、本案件の低入札価格であったことから同社に対して低入札価格調査を実施しようとしたところ技術者の追加配置が困難であるとして辞退をしましたので、次点で同じく調査基準価格を下回る 1 億 1400 万円で応札をしました名三工業株式会社三重営業所について低入札価格調査を実施しました。調査の結果、当該事業者は各調査項目において特に問題がなく適格になりまして、契約内容に適合した施工であると判断されたことから当該事業者を落札候補者と決定し、入札参加資格の事後審査も適格であったため、当該事業者を落札者と決定し、税抜価格 1 億 1400 万円で契約を締結しました。

発注公告と入札経過の説明は以上でございます。ご審議のほどよろしく申し上げます。

【委員長】

発注公告の入札参加資格要件のその他の要件についてですが、金額が大きいということもあるのですが、4000 万円以上の下請契約をする場合は監理技術者を一名追加してくださいとなっております。逆に言うと 4000 万円未満の下請契約であれば追加配置等

関係なく下請をしてもらうことができるものなのでしょうか。

【事務局】

事務局です。今回は設計金額が 1 億円以上の案件なので低入札価格調査制度の対象案件になっています。この開札の時に設定する調査基準価格を下回ると、低入札という形になりまして、その形で契約する場合には、追加の技術者が必要になります。また、建設業法の規定で 4000 万円以上の下請を出す場合には主任技術者に替えて監理技術者を配置しないといけないことになっています。もし、4000 万円未満の下請であれば、主任技術者のままでよい、4000 万円以上の下請であれば監理技術者を出さないといけない。加えて低入札価格で入札しようとするときに現場代理人と 4000 万円未満の下請であれば主任技術者、4000 万円以上の下請であれば監理技術者、加えてその主任技術者が監理技術者の資格を有する者をプラス 1 名配置しないといけないとなっています。

【委員長】

ありがとうございます。下請を当てにしてされているところは技術者が不足していると辞退せざるを得ないことも起こりうるという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

そうですね。低入札で入札する場合、最低限求められるものに加えて追加で 1 名求められます。意図的にライバル他社を出し抜いて応札する場合に、基準価格を下回って低入札にする場合には、意図的にする場合には追加の技術者がいるわけですから人数を準備して臨んでくると思います。しかし、意図せず低入札になった場合は低入札を想定していなかったことから、追加の技術者を考えていなくて結果的には準備できなくてやりませんということもあり得ると思います。

【委員長】

ありがとうございます。制度としては適切な工事ができるようなことを考えていただいているのだろーと思います。他に質問、ご意見はございませんか。

【委員】

佐藤でございます。付けていただいた図面を拝見しても専門的で理解できないのですが、送水場の電子盤というのは、全部新しいものに取り替えるということでしょうか。

【担当課】

はい。一式取り替えるという内容の工事でございます。

【委員】

例えばミニ UPS と次亜注入ポンプ盤等は全部制御装置ですか。

【担当課】

水道課の城田です。ミニ UPS というのは蓄電池でございます、約 20 分間計装設備の水位、発電機が動くまでの間に電気を送るもので、それは大したものではございません。これは小さいものなので 5 年に 1 回くらい取り替えています。今回もそれらをセットで替えます。次亜注入ポンプ盤は次亜のポンプを自動で動かす小さい盤ですが、昭和 59 年

に設置されたものですから一緒に取り替えることになっています。

【委 員】

工事の費用 1 億 4000 万円ということで高額ですが、この並んでいる監視装置等いろいろありますが、どれが高いのですか。

【担当課】

この中では監視操作盤が高いです。その中に自動運転回路等の機器が入っておりますので、一般的に電気の盤として水道だと 1 面 1000 万円くらいかかると考えております。その中で重電 5 社から見積りを取りまして設計内容に表したものであります。工事費としては機器が 90 パーセント以上を占めております。

【委 員】

分かりました。ただ北部送水場には職員は常駐しないで遠隔操作をするということですか。

【担当課】

はい、職員は上野浄水場で監視して自動で動かしておくという形になっています。

【委 員】

了解しました。

【委員長】

ありがとうございました。

【委 員】

赤木です。参考までに伺いたいのですが、よく入札監視委員会で議題に挙がってくる水道の監視メーターの機器の導入等の場合、一度導入されると更新等については特定の機器の機密と技術が係わってくるので同じ業者が入ってくるということです。しかし、今回見るとこの関連上の電気設備工事業者ということで、一度入ると次回から同じ業者がずっと随契に入る等そういうものではないという理解でよろしいでしょうか。

【担当課】

今回の工事は機器そのものを更新するものですので、一般競争入札で複数の企業を対象に入札させていただいています。この先、例えば部品の取り換え、定型業務委託等になりますと業者がどうしても限られてきて随意契約になってしまいます。

【委員長】

他に質問はよろしいでしょうか。

【委 員】

よく分からないので聞くのですが、電気設備だと業者によって設備の性能が違うのではないかと思います。省エネ達成等基本性能はあるのでしょうか、性能みたいなものは入札に加味されるのでしょうか。

【担当課】

機器の性能ですね。設計の段階で性能面で求める条件を仕様書に記載しまして入札の発注公告に出していますので、こちらが求める性能以上の機器が納入されれば問題はないと考えております。

【委員長】

よろしいでしょうか。いくつかご質問が出ましたが、他にご意見、ご質問はなかったでしょうか。それでは特段の問題がなかったと思いますので、この案件について問題なしとしてよろしいでしょうか。

抽出事案 4 長島町平方配水管布設替工事

【委員長】

それでは、第4案件「長島町平方配水管布設替工事」につきまして、発注担当課から工事概要を説明していただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【担当課】

引き続き水道課の出口でございます。工事概要についてご説明申し上げます。資料の57ページの工事概要書をお願いいたします。工事名は長島町平方配水管布設替工事でございます。予算額は7500万円、設計額は7430万600円、工期は令和元年7月12日から令和2年2月28日まででございます。工事場所は長島町平方地内で、資料の次のページの位置図の箇所でございます。

工事内容でございますが、本市では災害時の避難所や医療機関などの重要な給水施設を対象とした管路や漏水が多発している管路の耐震化更新を重点的に実施しており、本工事は周辺に災害時の避難所として長島防災コミュニティセンターがありますことから本工事により当該施設に給水する水道管の更新を行うものでございます。

内容につきましては耐震仕様であります HPPE、これは配水用ポリエチレン管といいますが、これの口径150ミリメートルを848.9メートル、口径100ミリメートルを22.7メートル、同じく75ミリメートルを336.7メートル、50ミリメートルを7メートル、合計1215.3メートルを布設するものでございます。消火栓につきましては地上式の口径75ミリメートルを2基、地下式の口径75ミリメートルを1基設置するものでございます。資料の59ページからは図面になります。59ページから63ページは平面図、64ページから66ページは本管及び付属材料の配置を示しました配管詳細図、67ページは横断図、68ページは土工・舗装工の標準図でございます。

工事概要のご説明は以上でございます。

【事務局】

事務局の上下水道部企画総務課の小林です。続いて発注公告と入札結果について説明いたします。69 ページをご覧ください。入札方法は事後審査型一般競争入札です。入札参加資格要件としては、土木工事業の特定許可業者であること、所在地要件は市内業者で、経審点数が 730 点以上であること、発注業種の完成工事高が予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事の施工実績として平成 16 年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の施工実績を有することとしています。

技術者要件としては、現場代理人と監理技術者、その他技術者として①配水用ポリエチレンパイプシステム協会正会員メーカーの配管技能（施工）講習会修了証取得者、②配水用ポリエチレンパイプシステム協会施工講習（配水管）受講証取得者、③旧団体（水道用ポリエチレンパイプシステム研究会、配水用ポリエチレン協会）の施工講習会受講証取得者のいずれかの有資格者の配置を求めています。その他要件として、桑名市指定給水装置工事事業者の認可を受けていることとしております。

以上の要件で公告いたしました。

続いて入札経過及び結果について説明いたします。資料は 70 ページになります。7 月 2 日に開札いたしましたところ 7 者から応札が有りまして、1 者が辞退、残り 6 者が最低制限価格と同額の応札となりましたので電子くじにより天元工業株式会社を落札候補者とし、事後審査を行いました結果適格であったため当該事業者を落札者と決定し、税抜価格 6079 万円で契約をいたしました。

発注公告と入札結果の説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。それでは私から、毎度のことですが、この入札経過表を見ると 6 者応札されて皆さん全く同じ金額で出てくるというところで、どうしても素人目に違和感をぬぐえないのです。しかるべきソフトを使えば全く同じ答えが出てきてしまう話しですが、ソフトが一つであれば、入れる条件が一つであれば同じ答えが出てくるということでしょうが、業者が工事に対してどういうより良い提案をしてくるか、あるいはより良い工夫をしてくるかが反映される方法がないものかと思ったりするのですが、その当たりについてはいかがでしょうか。

【事務局】

上下水道部の事務局です。入札の方法は上下水道部で単独で考えているわけではなくて、市長部局の方法に歩調を合わせて執行しているので単独の意見を言いにくいのですが、現行の制度でいきますと同額で並んでくじで決定する状況が結構な頻度で起きるのは確かに本当にいいのかと認識しています。いつものことですが、今までの経緯があって今の方法に至っているのですが、今の方法が未来永劫正しいのかというわけではないと思っているので、例えば県等他の地方公共団体の入札の執行方法をよく見ながら自分た

ちの方法が時代に応じているか、他の団体の方法はどうかを見ながら考え続けていかなければならないと意見として思っております。あと今回6者並んだということですが、予定価格、設計金額を事前に公表して最低制限価格の基礎となる基準価格の算出式を事前公表していますので計算することは可能です。今回加えて言うと、この最低制限価格の基準価格の算出が一定の範囲内で額を決めることになっていまして、今回は算出基準価格が概ね90パーセントの上限値、89.99パーセントになっておりました。最低制限価格の基準価格が変動しなければそのまま最低制限価格になりますので、これを下回る入札をしてしまうと失格になります。このラインをめがけて失格になるのは嫌ですし、高い額で出すと取れませんからどうしてもこの額に並んでしまうというのがより顕著に現れたものと思います。

【委員長】

ありがとうございました。他にご質問、ご意見はございませんか。

【委員】

佐藤でございます。本件の答えとは直接関連はないのですが、平方の配水管の布設替の元の配水管を設置したのはいつ頃で、何年くらい経過しているのでしょうか。

【担当課】

すいません。資料を持ち合わせてございませんでしたが、我々市内の各箇所でも更新の必要な箇所を順次施工しておりまして、古いものから優先的に施工しています。桑名地区で言いますと、昭和30年代の管がございしますが、長島地区でも古いものは昭和40年代、50年代の管がかなり残っております。おそらく昭和40年代から50年代のものだと思います。

【委員長】

よろしいでしょうか。他にご質問、ご意見等はございませんか。それでは、この件については特に問題はありませんが、入札の方法そのものについては他府県等の意見を聞いたり、他の市町村はどうしているかの情報を得たりしていただいているようなので、いろいろな情報を基に考えていただくと良いのではないかと思いますので検討していただいで適正な契約事務を遂行して下さい。

抽出事案 5 使用収益開始等業務委託

【委員長】

それでは、第5案件「使用収益開始等業務委託」につきまして、発注担当課から工事概要を説明していただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【担当課】

発注担当課の桑名駅西整備事務所の小林と申します。よろしくお願いします。失礼いたしまして着座でご説明させていただきます。資料 71 ページの委託概要書をご覧ください。委託業務名は使用収益開始等業務委託です。予算額は 3070 万円です。設計額は 2858 万 9000 円です。契約額は 2662 万円となりました。履行期間は令和元年 5 月 21 日から令和 7 年 3 月 31 日までです。

業務の概要でございますが、業務目的といたしまして 5 行で簡単に説明がございますが、内容を細かく説明させていただきます。資料の 72 ページをご覧ください。桑名駅西土地区画整理事業の計画平面図となっています。横にしてご覧いただきますと右側が北方向、名古屋方面となります。左側が南方向、四日市方面となります。薄く記載されているのが整理前の現況図、濃く示されているのが区画整理で施工していきます計画図となっています。事業区域の面積は約 27 ヘクタールございまして、線路沿いに南北に細長い地域で施工をしております。この事業区域におきまして整理する前の各地権者の元々の土地、従前地といいますが、これら従前地の代わりにお返しの替え地、換地といいますが、この換地の位置や面積を指定する仮換地指定というのが全域で済んでいます。仮換地の指定後は区画整理の工事を進めながら、道路、上下水道、ガス等のインフラ工事、そして宅地等の造成工事をしていきます。これら工事を完了してまいりますと順次宅地の利用、いわゆる使用収益が可能となってまいります。これら仮換地を地権者にお返しして建物の移転の際に生じます土地の出来高確認測量に基づきます境界鉋の設置、仮換地の使用に伴う業務、相続、売買、分筆等権利者の要望の申し出による権利変動に伴う仮換地の変更、再指定に関する業務、また土地区画整理審議会の諮問内容に係ります法的整理、関連データの整備、図面の作成等審議会の運営に係る支援等の業務を行っているところでございます。これらの業務につきましては、土地区画整理事業の推進に係る内業から外業の一連の作業となるもので、多くの個人の権利に係る個人情報データを一括に常に更新して管理していく必要が生じます。また土地の評価、権利指数、換地の設計等緻密なデータ修正に正確かつ迅速に対応していくためにはこれらのデータを処理するためのシステムの構築が必要であり、土地区画整理法他各種法令、事業の実施について専門的な知識・技術力を有するコンサルタント会社への業務発注を行ったものでございます。

概要書に戻りまして、業務概要につきましてただいまのご説明と重複いたしますが、調査業務の換地に関する業務では仮換地の使用収益開始やこれに関連する業務、工事の施工誤差の処理を含む換地の変更、また権利者要望等による従前地の分筆に関する業務、またこれらの変更に伴い換地の修正設計、各種データや図面を更新し管理をしていく業務です。審議会につきましては、土地区画整理審議会の運営補助として仮換地変更等による諮問案件の法的整理、資料・図面の作成、また 5 年ごとに行います審議会委員の選挙に際して、その時点での投票有権者を洗い出すため全権利者の登記要約書を照合、権利者名簿を集計し、住民票調査や選挙人名簿などを作成する業務が発生いたします。測量業務

につきましては、画地点復元測量、施工後の確認測量、また境界鈹の設置、仮換地の変更分筆に伴います画地の計算測量、これらを工事の進捗、権利者の土地利用計画等に合わせ随時速やかに現地での実施が求められるものでございます。

発注担当課からの説明は以上でございます。

【事務局】

説明いたします。資料の 73 ページをご覧ください。入札方法は事後審査型条件付一般競争入札、入札参加資格要件につきましては、発注業種は建設コンサルタントの都市計画及び地方計画、所在地は県内までとしています。

技術者要件は管理技術者及び照査技術者の配置を求め、同種業務履行実績は平成 16 年度以降、官公庁が発注した案件で、土地区画整理事業に係る換地設計に関する業務、土地区画整理事業に係る仮換地指定に関する業務、土地区画整理事業に係る換地処分に関する業務の全ての履行実績を有することを求めています。

以上の要件により公告いたしました。

次に入札経過及び結果でございますが、資料の 74 ページをご覧ください。令和元年 5 月 8 日に入札を行いましたところ、1 者から応札があり、開札の結果、その 1 者である玉野総合コンサルタント株式会社三重事務所が最低制限価格以上予定価格以内で応札したため、落札候補者といたしました。その後事後審査を行った結果適格であったため、当該業者を落札者に決定し、税抜 2420 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしく申し上げます。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見を申し上げます。

【委員】

業務について少し教えていただきたいのですが、5 年か 6 年くらいの業務になっていると思いますが、その価格自体は令和 7 年までの価格ですよという確認と、今回一者しか応札しなかったのですが、その考えられる理由と、住民の審議会を作られるのでしょうか、もう既に動いていただいたい業務の進行上円滑に行われる状況なのかどうかを教えてください。

【担当課】

桑名駅西整備事務所の小林でございます。業務につきましては、ご推察の通り 6 年間の委託枠になっております。審議会につきましては、土地区画整理法に基づいて設置がされていまして、事業の立ち上げ時点から設置がされていまして、案件ごとに審議会を開催してまいります。今年度につきましては、すぐに開催しなければならない案件は現在のところございませんので、今年度は年度末に審議会を 1 回開催する予定でございます。なぜ 1 者しか応札がなかったのかと思われるということですが、何者か応札者と同レベルの会社がございますが、これらには伺っておりませんが現在の請負者に聞いてみると、仮に他の事業者が請け負った場合個々の換地の設計、個人の権利に係る情報など各社独自の特

殊データとしての自社システムを作っているということで、これらを誤りなく変換して自社のシステムにコンバートしていく、こういう作業がすべて手作業になってくる、共通した拡張子のデータですとシステム間でやり取りが比較的安易に変換できるのですが、特殊なデータ管理が各社されているというなかで 1000 以上のデータが従前地の筆数であるわけですから、そういうものを手作業で行っていくとなると、請け負った当初はそういう作業で非常に多くの時間と人件費が割かれてしまうということ、そういう情報管理の中でリスクの観点、こういうことから既に動いている事業に対して仮換地変更等事業の進捗に合わせて迅速に対応するということが非常に困難であるということから、応札者として手を出しづらいということを申し上げておりましたので、そういうことから他業者の入札はなかったのではないかと発注担当課として推測しております。

【委員】

今のご説明だと、そういう意味では玉野総合コンサルタントはその地域の情報に、経験が多かった等何か有利な点があったと考えられますか。

【担当課】

桑名駅西整備事務所の小林です。 応札者は事業立ち上げの段階から当該土地区画整理事業の仮換地の計画等を請け負ってまいりました。 個々の地権者の権利関係、換地の経緯等を十分把握しており、また、そのデータを管理するシステムの構築を行ってきた業者であったということでございます。

【委員】

既に、前から業務が続いていたということですね。その中で更新、契約事業の中でライセンスを取ったということですね。わかりました。

【委員長】

ありがとうございます。発注担当課から何か補足はございませんか。

【担当課】

特に補足はございません。

【委員長】

他に質問はございませんか。

【委員】

土地区画整理事業に関しては、以前から最初に受けられた方が従前の所有者のデータを持っているので、最初に取りつてしまうとこの事業が続いている間はその業者が独占的な形で、結果として取つてしまいます。新たな業者が入るには今のお話ですとハードルが高いという形になりますので、そういったところの競争の原理を働かせる何らかの方法があれば一番いいのですが、長い事業の中で蓄積されたデータ等がたまればたまるほど同一事業者が長期間確保してしまうという形になりかねません。入札監視委員会の業務とは関係ないのかもしれませんが、市民が余分に高く税金を払うことにならないように、例えば他のコンサル業者がよその地区で同程度の事業をどんな形で受けているのか

を見ていかないといけないと思います。前々から区画整理に関してはある業者が一旦取ったらその後そのデータは全部持っているので他の業者が入れないという形になります。先程の土木の工事ではありませんが、いわゆる随意契約に近い形でなければ事業をしていくことができません。今回入札に門戸を広げているが、誰もこないで1者になりますが、その前に大きな壁があってそれを超えるのは非常に困難です。最初にとったところが随意契約を取るのと同じみたいな形になりかねませんので、そういう指摘にならないようによく見てあげてほしいという希望でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

【委員】

赤木です。私は駅西委員の関係で関わっている立場がありますが、入札に関しては特に利害関係はありませんので席を外す必要はないので意見も言わせていただきます。意見というより聞きたいことでして、この業務は5~6年ありますので、業務内容もこう見ると私も分からなかったりするのですが、漠然とですが、例えば権利者の方々の中で、桑名市の法律の関係で相談を受けたりすることもあるので一部知っている話もあるのですが、権利者の中で権利意識の高い方、いろいろおっしゃる方がいると駅西の担当者も大変だと思っていたりするのですが、波風もたたない状態だとそういうこともないのかなと思います。当初の時点、例えば令和7年、先のことでどれだけ仕事が増えるか、どれだけ手間がかかるか等のリスクはあると思います。この金額は2千数百万円で契約されていますが、こちらのコンサルのほうとしては令和7年まで行ったときに、得した、えらい損をした等そういうのはリスクとしてあるのでしょうか。お聞きしたいです。

【担当課】

桑名駅西整備事務所の小林です。6年間で、各年度で補償させていただく数も違いますでしょうし、これに伴って換地の作業、測量作業、数量的なこと等の変動がございます。今回6年間ということで、年400万弱の請負金額となりますが、これに関しましては毎年実績に応じて変更を行って精査しながら、最終的に実施の有無に関わらず金額をお支払するというのではなく、精査をしていきますので6年通して一括でこの金額で発注していますが、出来高によりまして変更する予定でございます。

【委員】

ありがとうございます。そうすると毎年精査して過不足、要は最初400万円くらいですが、400万円払うこともあれば300万円払うこともある、逆に変更契約等で増えることもあると考えてよろしいのでしょうか。

【担当課】

先程ご説明した通り、各年度で数量が変わりますので、それに応じて必要があれば変更していくことになります。

【委 員】

何度もすいません。例えばある年は 300 万、ある年急に増えて 600 万円、最終的にこの金額を超えることがあるのかないかいかがでしょうか。

【担当課】

この 6 年間の予算につきましては、債務負担行為という形で財政部局、市議会のほうで承認をいただいて 6 年間の限度額を定めて予算を確保しておりますので超えていくことはございません。

【委員長】

他に質問はよろしいでしょうか。

【委 員】

継続業務になるので住民のデータとかはそのまま引き継がれてその分が余剰額になるというお話だったのですが、そのようなことは既に予定価格の中で勘案されていて、コスト削減はそこで考慮されているのですよね。

【担当課】

桑名駅西整備事務所の小林です。個人情報リスク管理と併せてシステムの適正な維持管理の中でデータ管理も安全にしていくな中は、毎回毎回違う請負者がデータの管理をしていくことに比べると一度システム整備をしてデータ管理をしていくな中はコスト的にも削減はされてくると考えております。

【委 員】

予定価格を出すときに、その当たりの削減を補償費用よりも当然その当たりは価格が安くなるから予定価格の中に入っていると考えてよろしいのでしょうか。

【担当課】

桑名駅西整備事務所の小林です。先程請負者に聞き取った話では、まず自社のシステムにデータを変換して手作業で入力していく作業は非常に長い時間と事務費がかかってしまうというところですが、この業務の発注に当たっては歩掛に基づいて設計をしております。そのようなデータ変換を手作業でしていくことに関しましては請負費の枠を超えた作業になってくるということで、業者に言わせるとこの部分は確実に赤字になってくるといって話をいたしました。

【委員長】

よろしいでしょうか。他にご意見、ご質問はありませんか。では、私から、桑名駅西整備事務所の案件は、スタートしたのはいつからでしょうか。現時点では難しいと思いますが、終了の予測はいつ頃と考えていらっしゃるのでしょうか。

【担当課】

桑名駅西整備事務所の小林です。事業の計画決定をしたのは昭和 47 年ですが、実際事業に係ります事業認可という県知事の認可は、平成 13 年に受けて事業を実施していったという状況でございます。進捗状況で言いますと駅前を集中的に工事させていただいて

いますが、事業費ベースで5割、移転させないといけない建物の戸数ベースでも約5割の進捗率でございます。今の事業認可をいただいている期間が令和7年3月31日、西暦だと2024年度が今の事業認可期間でございますが、これ以降10年間は今の進捗からすると延長しなければいけないということで、過去にも地元住民に説明させていただいておりますので、長期に及ぶ事業でございます。

【委員長】

ありがとうございました。他にはご質問、ご意見はよろしかったでしょうか。それでは、この案件については問題ないということで良いと思いますが、いろいろご意見等が出ておりますので、これらの意見を踏まえて改めて検討していただくようなことがあればお願いします。適正な契約事務につながればと思います。

以上をもちまして抽出事案の審議を終了いたします。発注担当課はここで退席してください。ありがとうございました。

(工事担当課退席)

【委員長】

それでは次回の審議案件の抽出は、赤木委員となりますのでお願いいたします。

次に「(3) その他」ですが、委員の皆様何かございますか。

それでは、事務局からは何かございますか。

【事務局】

特にございません。

3 閉会

【委員長】

それでは、これにて令和元年度第2回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。なお、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。本日はありがとうございました。